

栗山町エコビレッジ湯地の丘

環境づくりガイドライン(建築環境緑化協定)適合確認書の提出について

建築主 各位

この度は、標記分譲地のお申込み誠に有難うございます。

ご案内のとおり、当該分譲地につきましては景観や緑づくり、環境に関心のある住民が安全・安心に暮らせるコミュニティ形成を目指し、緑が豊かな環境であることはもちろん、環境に負荷をかけない住環境づくりのためガイドライン（建築緑化協定）を設けております。

ガイドラインに則り、建築物の設計内容については実施設計に入る前に、建築主様と栗山町がガイドラインの趣旨を相互に理解し、実施設計をスムーズに進めるため、設計内容について栗山町との事前協議が必要となります。

つきましては、この事前協議に際してガイドラインに定める内容に準拠しているか確認するため、別紙適合確認書の提出についてよろしくお願いいたします。

【記入方法】

- ・ ご記入は建築主ご本人、または住宅建築メーカー担当者にて行ってください。
- ・ 別紙適合確認書の各チェック項目について、基準をクリアしているものについては適合確認欄に「○」印を記入し、取り組み説明欄に具体的な説明をご記入ください。
- ・ 基準をクリアしていない場合は、現在検討している方法について取り組み説明欄にご記入ください。
- ・ 確認書類欄については、現時点でご用意可能な図面があれば該当する書類に「○」印を記入し、本書提出時に添付してください。

栗山町エコビレッジ湯地の丘
環境づくりガイドライン（建築環境緑化協定）適合確認書

記入日	令和 年 月 日	建築場所	エコビレッジ湯地の丘 第 番
記入者氏名	連絡先 - -	設計者名 (会社名)	
確認書類	建築概要・着色透視図・見取図・配置図・仕上表・平面図・立面図・断面図・矩計図・その他（ ）		

1. 環境負荷の低減に関わる協定

チェック項目	取り組み説明	適合確認
1-1 エネルギーの消費削減 ・エネルギーの削減に努める		
1-2 自然エネルギーの有効利用 ・自然エネルギーの有効利用に努める		
1-3 資源の有効利用 ・地形の改変は極力行わない ・再生資材2種類以上の使用を基本 ・節水型便器を使用する		
1-4 廃棄物の削減 ・ゴミの削減（3R）に配慮 ・合併処理浄化槽による汚水処理		

2. 周辺環境とつながる暮らしに関わる協定

チェック項目	取り組み説明	適合確認
2-1 自然環境の保全 ・周辺の自然、農業環境に影響の出る動植物の持ち込み禁止		
2-2 周辺との調和 ・緑化容積率は60%以上 ・敷地内道路際に2本の高木を植樹（栗山町が贈呈） ・樹種は御大師山自生種を基本		

チェック項目	取り組み説明	適合確認
2-3 建物内外の関係性		
<ul style="list-style-type: none"> ・建物内外を関係づける「中間領域」の確保 ・夕張岳方向の眺望性を確保する建物等配置 		
2-4 地域社会や産業との関わり		
<ul style="list-style-type: none"> ・道産原材料を用いた資材の使用を原則 ・栗山町で製造販売される資材の一部使用 		

3. 質の高い環境性能に関わる協定

チェック項目	取り組み説明	適合確認
3-1 安全や健康に配慮した室内環境		
<ul style="list-style-type: none"> ・シックハウス予防のために建築基準法適合建材を使用 ・住宅金融支援機構バリアフリー工事基準は建物内外に摘要 		
3-2 美しく調和したデザイン		
<ul style="list-style-type: none"> ・建ぺい率は40%以内 ・容積率は60%以内 ・壁面後退は有効幅（敷地境界から2m以上、道路境界から3m以上） ・最高高さは地盤面より10m以内 ・母屋の屋根勾配は3.5/10を基本 ・軒及び庇の出は壁心から45cm以上 ・屋根素材はガルバリウム鋼板同等以上製品 ・屋根色彩は栗山町指定色 ・母屋の外壁は自然素材を原則 ・主要な窓は木製サッシが望ましい ・サッシの色は栗色を基本 ・照明器具は白熱灯色のものが望ましい ・敷地内道路際に垣柵は設けないことを基本 ・付属建物は母屋と一体性のあるデザイン 		

栗山町エコビレッジ湯地の丘
環境づくりガイドライン（建築環境緑化協定）適合確認書

記入日	平成 26 年 4 月 1 日	建築場所	エコビレッジ湯地の丘 第 1 番
記入者氏名	栗山太郎 連絡先 0123 - 72 - 1111	設計者名 (会社名)	栗山建築株式会社
確認書類	建築概要・着色透視図・見取図・配置図・仕上表・平面図・立面図・断面図・ <u>矩計図</u> ・その他（ <u>緑化率算定特記資料</u> 、 <u>設備器具図</u> ）		

1. 環境負荷の低減に関わる協定

チェック項目	取り組み説明	適合確認
1-1 エネルギーの消費削減 ・エネルギーの削減に努める	省エネ対策等級 4 に準ずる 熱損失係数 Q 値 1.3	○
1-2 自然エネルギーの有効利用 ・自然エネルギーの有効利用に努める	給湯機は、エコキュートを使用 太陽光パネルの設置	○
1-3 資源の有効利用 ・地形の改変は極力行わない	地形の改変は行わない	○
・再生資材 2 種類以上の使用を基本	古材の再利用、	○
・節水型便器を使用する	節水型便器を使用	○
1-4 廃棄物の削減 ・ゴミの削減（3R）に配慮	現場キレイ運動推進中	○
・合併処理浄化槽による汚水処理	合併処理浄化槽（5 人槽）の設置	○

2. 周辺環境とつながる暮らしに関わる協定

チェック項目	取り組み説明	適合確認
2-1 自然環境の保全 ・周辺の自然、農業環境に影響の出る動植物の持ち込み禁止	持ち込まない	○
2-2 周辺との調和 ・緑化容積率は 60%以上	66.86%	○
・敷地内道路際に 2 本の高木を植樹（栗山町が贈呈）	栗山町贈呈の苗木を植樹する	○
・樹種は御大師山自生種を基本	エゾヤマザクラ、エゾアジサイ	○

チェック項目	取り組み説明	適合確認
2-3 建物内外の関係性		
・建物内外を関係づける「中間領域」の確保	アプローチ、ウッドデッキの採用	○
・夕張岳方向の眺望性を確保する建物等配置	東面に窓を配置	○
2-4 地域社会や産業との関わり		
・道産原材料を用いた資材の使用を原則	外壁に道産カラマツ材を使用	○
・栗山町で製造販売される資材の一部使用	フローリング材に使用	○

3. 質の高い環境性能に関わる協定

チェック項目	取り組み説明	適合確認
3-1 安全や健康に配慮した室内環境		
・シックハウス予防のために建築基準法適合建材を使用	下地、仕上材は全てF☆☆☆☆を使用	○
・住宅金融支援機構バリアフリー工事基準は建物内外に摘要	高齢者等配慮対策等級3とする	○
3-2 美しく調和したデザイン		
・建ぺい率は40%以内	23.73%	○
・容積率は60%以内	19.99%	○
・壁面後退は有効幅（敷地境界から2m以上、道路境界から3m以上）	各数値以上を確保（敷地境界から2.5m、道路境界から4.5m）	○
・最高高さは地盤面より10m以内	7.13m	○
・母屋の屋根勾配は3.5/10を基本	屋根勾配は3.5/10	○
・軒及び庇の出は壁心から45cm以上	壁芯より75cm	○
・屋根素材はガルバリウム鋼板同等以上製品	ガルバリウム鋼板を使用	○
・屋根色彩は栗山町指定色	黒系の色を使用	○
・母屋の外壁は自然素材を原則	外壁は道産カラマツ材、腰壁はレンガを使用	○
・主要な窓は木製サッシが望ましい	木製サッシを使用	○
・サッシの色は栗色を基本	茶褐色系を使用	○
・照明器具は白熱灯色のものが望ましい	省エネタイプの白熱灯色を採用	○
・敷地内道路際に垣柵は設けないことを基本	敷地内道路際に垣柵はなし	○
・付属建物は母屋と一体性のあるデザイン	付属物置の外壁は母屋と同じ仕様	○